

2016年度 油化学講演会

「茶道を通じて界面化学を体験する」

伝統様式にのっとりお客様にお茶をふるまう茶道は、お茶を入れて飲むことを楽しむだけでなく、人生観や世界観を見つめたり、茶道具や茶室に飾る美術品を堪能したりなど、幅広い分野の芸術として発展してきました。油化学の視点から茶道を見ますと、お茶の成分であるサポニンが抗菌・抗ウイルス作用もある天然の界面活性剤であり、抹茶などで見られるように泡立つという現象に関与しています。今回の油化学講演会（東海）では、茶道を通じて界面化学を体験してもらい、落ち着いた心でお茶を楽しんでいただきます。また、一千年を超える試行錯誤の歴史を経て、世界に比類のない醸造法を確立した日本酒造りの全貌を花の舞酒造株式会社において見学します。さらに、分子レベルや細胞レベルにおける界面作用の最先端研究について2名の先生に講演していただきます。昼食代のみで参加できる講演会&工場見学会です。ぜひ、皆様の多数のご参加をお待ちしております。

- 主催** : 公益社団法人 日本油化学会 東海支部
共催 : 一般財団法人 油脂工業会館
協賛 : 化学工学会（東海支部）、高分子学会（東海支部）、色材協会（中部支部）
電気化学会（東海支部）、東海化学工業会、日本化学会（東海支部）
日本原子力学会（中部支部）、日本接着学会（中部支部）、日本セラミックス協会（東海支部）
日本分析化学会（中部支部）、表面技術協会（中部支部）、有機合成化学協会（東海支部）
- 会期** : 平成28年11月18日（金）8：00～19：00
- 会場** : 茶道体験 : 浜松市茶室 松韻亭 (<http://www.shouintei.jp/>)
〒432-8014 浜松市中区鹿谷町 11-4 TEL : 053-473-4310
講演会 : 静岡大学工学部 (<http://www.eng.shizuoka.ac.jp/>) 総24教室
〒432-8561 浜松市中区城北 3-5-1 TEL : 053-478-1004
工場見学 : 花の舞酒造株式会社 (<http://www.hananomai.co.jp/>)
〒434-0004 浜松市浜北区宮口 632 TEL : 053-582-2121
- 集合場所** : 名古屋発の場合 : 名古屋駅西口貸切バス乗車場バスバース 7：50集合（8：00出発）
名古屋発以外の場合 : 浜松市茶室 松韻亭 9：50 集合
講演会終了後、遠鉄芝本駅ならびに名古屋駅までお送りします

日程 :

8:00～9:45 バス移動（名古屋駅西口貸切バス乗車場バスバース）

9:55～10:00 開会挨拶（日本油化学会 東海支部長）

10:00～11:30 茶道体験（浜松市茶室 松韻亭）

題目 : 煎茶を楽しむ

講師 : 村松美枝子先生

概要 : 日本で、煎茶が復興したのは、明の末期の影響を受けてからとなります。隠元の渡来により中国の山寺名そのまま黄檗山万福寺と称し日本の黄檗宗が開かれました。隠元は、明人ですから、茶を喫んだとすれば、抹茶ではなく煎茶だったのではと伝えられています。茶の種類について少し触れてみます。茶は全て製茶法の違いによって、その味、香り、形の差があらわれます。日本茶のうまみは、テアニンとタンニンの調和にあります。玉露や上級のお茶ほどテアニンが多く含まれています。上級のお茶ほどお湯の温度を低くしてタンニンの流出を控え、テアニンのうまみを味わいます。抹茶は、玉露と同じように、茶畑を厳しく管理して、摘んだ葉を蒸すところまでは同じなのですが、揉みあげをせず、そのまま乾燥させて粉にしたのが、抹茶となります。最後にお茶席について簡単な説明をさせていただきます。抹茶・煎茶のお席作りは、共に床の間に掛物、花を掛け亭主のおもてなしとして茶席が始まります。亭主・

主客共に一期一会を感じて、ごく自然に礼を失わないようにする心が必要かと思います。本日は、煎茶二煎 器局点前でお席を用意しております。おくつろぎ頂ければ幸いです

11:40～12:50 バス移動（約 10 分） ～ 昼食（静岡大学工学部）

13:00～13:50 講演会 1（静岡大学工学部 総 2 4 教室）

題目：微生物の生存戦略と界面現象

講師：金原和秀先生（静岡大学大学院工学領域・教授）

概要：微生物はリン脂質二重層からなる細胞膜とリポ多糖からなる細胞壁で包まれ、外部環境から守られています。細胞膜は、時にはその一部が細胞から離れ、様々な細胞成分を取り込んで、他の細胞に輸送するベシクルを作ります。また環境中では、自らが分泌する多糖、たんぱく質、DNA を材料としてバイオフィームを作り、外部環境の変化に耐える生存戦略を持ちます。このように、細胞は様々な生存戦略を界面現象と通じて獲得しています。

14:00～14:50 講演会 2（静岡大学工学部 総 2 4 教室）

題目：準安定状態を利用した新しい分子集合体のデザイン

講師：矢島史樹先生（千葉大学大学院工学研究科・准教授）

概要：これまでの有機機能材料研究は、熱力学的に安定な集合状態の設計に重きが置かれ、堅牢かつ高い持久力を持つ材料の創製も可能になりつつある。一方近年では、準安定状態にある分子集合体に注目が集まっている。講演者の研究グループでは準安定な分子集合体を巧妙にデザインする手法が確立されつつあり、これらは「動的機能」とも呼べる性質を見せる。本講演では、準安定分子集合体に関する演者らの最近の取り組みについて紹介する。

15:00～17:00 バス移動（約 30 分） ～ 工場見学（花の舞酒造株式会社、約 9 0 分）

17:00～18:30 バス移動 遠鉄芝本駅（新浜松駅まで電車で約 3 0 分） ⇒ 名古屋駅西口貸切バス乗車場バスターズ

申込締切： 9 月 1 6 日（金）より先着順（定員に達した時点で募集を打ち切らせていただきます）

定員： 2 5 名

参加資格： 2 0 歳以上の方ならどなたでも参加できます。ただし、工場見学をしますので、同業者の参加を遠慮していただく可能性がございます。

参加費： 2, 0 0 0 円（昼食代、お茶代／お茶菓子代として）。当日、松韻亭にてお支払い下さい。おつりのないようにご準備をお願いします。

申込方法： 下記、申し込み用専用 Web ページよりお申し込みください。

URL: <http://www.c-goudou.org/enquete/cgi-bin/form.cgi?id=051>

Web からお申し込みできない場合、本用紙を利用して Fax にてお申し込み下さい。



日本油化学会東海支部 平成 2 8 年度 油化学講演会 参加申込書 平成 2 8 年 月 日
(公財) 中部科学技術センター内 日本油化学会東海支部 Tel : 052-231-3070、Fax : 052-204-1469

氏 名	
勤 務 先 所属・部署	
連 絡 先	〒 Tel 電子メール Fax

* 工場見学をしますので、氏名・勤務先（所属・部署）・連絡先の記入をお願い致します。